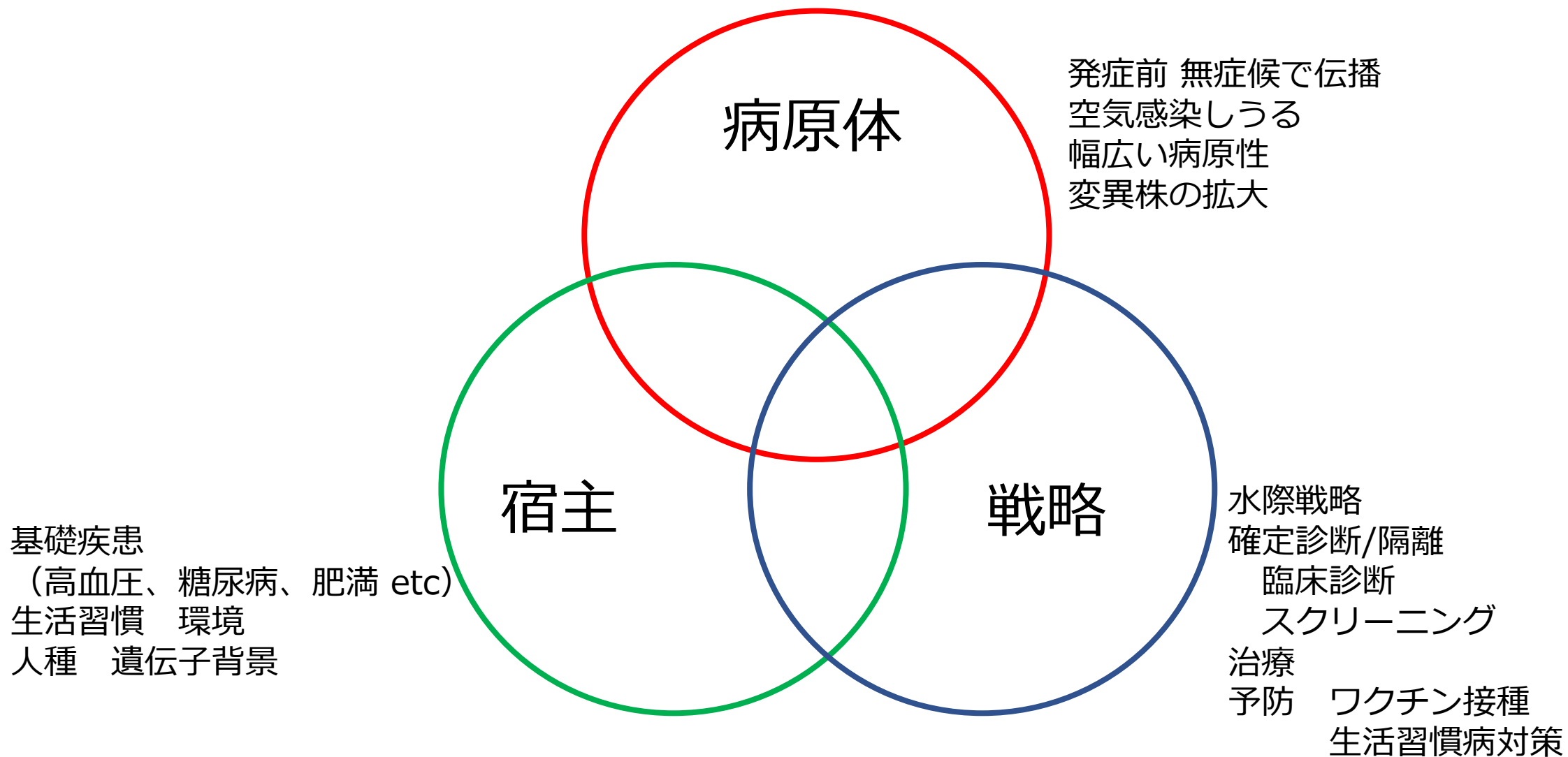


# 沖縄におけるCOVID-19対処法

PHS (pathogen 病原体, host 宿主 and strategy 戦略) アプローチ



# 沖縄におけるCOVID-19対処法

PHS (pathogen 病原体, host 宿主 and strategy 戦略) アプローチ

	問題	評価	計画
病原体	発症前 無症候にて伝播 感染経路（飛沫、接触） 病原性 変異株	発症前陽性者の認識不足 空気感染の認識不足 軽症から重症まで幅広い デルタ株（2021年8月）	基本的感染対策の実施 マスク、手指衛生  沖縄県でのゲノムスクリーニング
宿主	基礎疾患 生活習慣/環境（密の状態） 人種/遺伝子 社会/経済的問題	コントロール不良（罹患者） 食事・運動・喫煙 一般的ではないが知見あり (Zeberg H, Pääbo S. Nature. 2020) 外国人労働者問題など	生活習慣再考(減量、禁煙) ワクチン接種（肺炎球菌、インフルエンザetc） 文化的背景に配慮し支援
戦略	水際：発症前陽性者を捕捉 確定診断 / 隔離 臨床診断 スクリーニング 大規模スクリーニング 治療 予防 基本的感染対策 ワクチン 環境整備（換気etc）	希望者のみ検査実施 ワクチン接種有無の確認なし 充足 ほぼ充足 未整備 重症化回避（指針あり） 継続 2回接種者 56.9%（10/10現在）	渡航前検査陰性を確認 ハイリスク群へのスクリーニング 検査システムの構築  離島支援体制強化  ワクチン目標設定要 エアロゾル・空気感染対策支援 迅速なクラスター対策

# 沖縄、ハワイ、台湾におけるCOVID-19防疫比較

	沖縄 (県)	ハワイ (州)	台湾 (中華民国)
人口	1,458,471 (May 1, 2021)	1,406,430 (2021)	23,858,188 (Jun 18, 2021)
渡航前検査	希望者のみ	渡航前72時間の陰性証明必要	渡航前1-3日の陰性証明必要
水際対策	受検要請のみ	“Safe Travel Hawaii” 政策	Level 2 alert 不必要の渡航禁止
渡航後観察期間	必要なし	検査陰性確認なければ10日間	14日間ホテルあるいは自宅滞在 違反者には罰金あり NT\$300,000 (US\$ 10000)
滞在中のマスク着用	規則なし	必要、違反者の罰則なし	必要 伝染病対策法 違反者には罰金あり NT\$3,000-15,000 (US\$105-525)
累計陽性者/死亡者 陽性者/日/100万人 (直近7日間平均)	50,011 / 362 110.8 (Oct 15, 2021)	79,562 / 835 92.4 (Oct 13, 2021)	16,325 / 846 0.251 (Oct 15, 2021)
検査数/日 (週平均)	595 (Oct 15, 2021)	5,178 (Oct 13, 2021)	18,370 (Oct 14, 2021)
検査陽性率	4.2% (Oct 15, 2021)	2.0% (Oct 13, 2021)	0.03% (Oct 14, 2021)
ワクチン接種率 (2回/completed)	56.9% (Oct 10, 2021)	70% (Oct 14, 2021)	12.8% (Oct 8, 2021)

# COVID-19

## 第6波に向けての提言

- 水際対策：渡航者のワクチン接種者/PCR陰性確認者の認証を全県で行う  
（市町村ごとのバラツキを無くす）  
小規模島嶼地域：より「強い推奨」が必要
- ワクチン接種：最下位脱出 接種対象者人口の60%（77万人）接種
- 保健所機能拡充： 陽性者/濃厚接触者周辺の調査と隔離を推進  
感染経路不明者 20%以下を目標に
- 情報共有システム構築：陽性者-県コロナ本部-保健所-医療機関を結ぶ  
健康観察アプリと連携 2020年8月に提案済み
- 沖縄県の人材交流：既存のネットワーキングを駆使する  
沖縄県ホームページの疫学情報公開 米国ハワイ州を参考に  
具体的な感染対策 台湾を参考に